

ともしび



井上 由美子
(釋由真)

コロナ禍に古希を迎えて

二月七日、七十歳になりました。両親はお浄土。住職一家や妹たち、お寺の関係者に囲まれて幸福に暮らしています。頭の中のほとんどは「宗願寺」のこと。父が亡くなった後はずっとそんな風に生きてきました。

二年前の二月末、どうしても会いたい人がいて出かけた得度の同窓会で九州の別府に滞在していた時に、住職から電話がありました。役員さんから連絡があり、三月初めの永代経に皆さんが集まるのは無理なのではないか、と仰っていると。即、延期を決めました。その後、今日に至るまで、大切な春と秋の法要は代表者参拝で勤め、ほとんどの行事は中止、定例会も開きにくくなり、寂しい状態が続いています。コロナ禍の二年の間に、仏社と仏婦の会員で亡くなられた方や、施設に入られた方がいます。行事の度に作っていたお弁当を、コロナが収まった後、今までのようにできるかどうか心配です。

お寺に生まれ、そのまま高齢となった私ですが、恵まれていると感じているのは、親鸞聖人のみ教えを有難く聞けることです。仏さまを信じられずに悩む僧侶に会ったことがあります。それはどんなにか苦しいことでしょう。

私は、思い通りにならないことを嫌というほど経験しながら生きてきました。十代の頃、身体を壊し、進学も就職も結婚もかなわなまま歳を重ねました。そして、それが私が仏さまと出遇えた理由です。辛い経験が縁となってお念仏を喜べるようになりました。

先日、本堂でお参りをされていた鬱病の念仏者の方がこう仰いました。「苦しい鬱も家庭内の問題も全部がご催促なんだよな。人生無駄なことはひとつもないんだ」と。この場合の「催促」とは、早く真実に目覚めてください、仏さまと出遇ってくださいと促されることです。仏さまのおはたらきです。死別や病氣等、苦しみをこ縁として、本当の喜びに出遇うのです。

ジョンとヨーコの「イメージ」という曲には、理想郷が歌われ、宗教のない世界が出てきます。本当にそうだな、とつくづく思います。宗教(私たちにとっては浄土真宗)は、苦しむ衆生(我々)がいるから存在するのですから。仏さまが現れてくださったのは、無明(苦の根源)の闇に沈む私たちがいるからなのです。自分はある程度の生きられたいのか、と考えます。若い頃は、生まれてこなければ良かったと思つたこともありましたが、本意で仏さまと出遇えたことが嬉しく、感謝しています。立派なことを綴っていますが、コロナ禍、大好きだった三浦春馬の死に衝撃を受けて鬱状態に。十キロ近く痩せて、自分でもどうしたら良いのか分からず不安定な日々を過ごしました。自分の弱さを再確認したことです。彼が命がけで残した作品を観なければ、時間が許す限り映像を観続け、その素晴らしい演技、歌ダンス等や人柄の良さに触れて悲しくなるばかり。

いのちがテーマのドラマや映画もいくつあつて、私の半分も生きられなかった彼に、たくさんのお念仏を教えてもらっています。在宅で介護を続けていた母が亡くなり、案になつたけれど寂しいふわふわした状態だったところにシヨッキングなことが起こり、自分を見失つたのでしよう。今の願いは一人でも多くの方に お念仏を喜ぶ身となつていただき



井上 直之
(釋直道)

私を見抜く仏さまのはたらき

たい、ということ。そのためには、私自身が喜んで生きていなければと思います。私はお寺にすることが多いので、お茶を飲みにお出かけください。限りあるこのいのちを、ともに歩んでまいりましょう。(副住職)

寒い日が続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。今年古河市でも何度か雪が降りました。雪が降ると、暖房の前にいる私とはうって変わって子どもたちはすくさま外に出て大はしゃぎ。雪だるまを作り始めます。最初はせつせつとおとなしく作っているのですが、それも束の間、スコップの取り合いで喧嘩が始まりました。挙げ句の果てに、今度ばかりは濡れのまま戻って来て部屋を走り回るので、私が叱ると「はい」と返事をし、お風呂場へ行きました。ついこの間まで、叱られるとめめめめしていたのに、子どもの成長は早いものです。さて、ある日のことです。雨が降っていたので子どもたちを車で幼稚園に送っている途中、一台分の幅しかない道で、前から車がやってきます。仕方がないので自分とバックして道を譲ったのですが、向こうは何の挨拶もせず、

その人は娘と同じ幼稚園のお母さんでした。それ以来私はその人を見るたびに「あの感じ悪い奴だ」と思うようになりました。そんなある日、スーパーで買い物をしていると、娘が〇〇ちゃん!と叫びました。そして友達と賑やかに話しています。しかし、その保護者を見たら、なんとあの時道を譲ったお母さん。状況からして無視できずに話しかけました。すると、とても感じが良い、品のある人で想像していたイメージと全く違うのです。それからというもの、あの時は向こうの挨拶に自分が気づかなかっただけでもいいし、そもそもそんなことでも良いと忘れていた自分がいいます。私たちの物事の見方は、まさにそのような様々な思い込みで縛られて、あてにならないものです。歎異抄に「仏かねてよりしるしめして、煩惱具足の凡夫と仰せられたることなれば……」とあります。自分の力では気づくことのできない私の愚かさ、危うさを知らせていただく時、私を見抜く仏のはたらきの中に、この私が生かされているのだと親鸞聖人は教えてくださいました。

今年長女は小学校に入学します。亡くなった、祖父である田淵さんに小学生になった長女の姿を見せることはできませんでしたが、永代経には娘とともに仏さまのご恩を偲び、音楽礼拝、仏説阿弥陀経を精一杯お勤めさせていただきました。 (住職)

仏教婦人会について



嘉神佐智子

二月十六日の定例会は、九名が出席して、本堂にて「らいはいのうた」のお勤めの後、来年ご本山で開催される仏教婦人会の世界大会についての話し合いを持ちました。少人数であっても参加することを決定し、その後お互いの近況報告をしました。



2月16日 本堂にて

二月四日の「女正月」がコロナのために中止となりました。毎年皆さんが楽しみにしているお寺の名称「クルミ寿司」を、午前中に副住職と作りました(写真)。お寺のクルミの木が枯れてからは、松井さんが渡良瀬遊水池でたくさ

仏教壮年会

第2土曜日 午後6時

仏教婦人会

16日 午後1時半

宗願寺合唱団の練習

第3日曜日 午後1時半

来年の親鸞聖人のご誕生850年・立教開宗800年慶讃法要に



2月18日 集会所にて

二月十八日の午後、集会所にて、東京教区仏教壮年会連盟のオンライン研修会に八名で参加しました。パソコンを大型テレビにつないで、オンラインでの研修は初めてのことで、「浄土真宗の教えと作法・慶讃法要に向けて」の内容で、ご講師は宮本義宣師です。

仏社の研修会のご報告

福島 慶久

今年十六日の定例会を休まないことに決めました。マスクをし、飲食はできませんが、会って話をするだけで、心が温まるように思います。新しい方のご参加をお待ちしています。(会長)

彩弥と弥那との日々

井上明寿子



彩弥(左) 弥那(右)

彩弥は何本かの乳歯が抜け、大人の歯が生えてきました。弥那も大きくなりましたが、二人の頭の中は変わらず自由な世界が広がっているようです。

弥那は、公園でモグラがあちこちに作った土の山を見て「誰が土の中にモグラをたくさん入れたの?」と言いました。笑ってしまいました。哲学的とも言える質問に困り、勢いで「他の大人とママが入れた」と

言ったところ、理想の答えではなかったらしく、納得のいかない顔をしていました。また、彩弥が突然「ママはいつになったら小さくなるの?」と尋ねたことがありました。「小さくなったからお弁当を作ってあげる」とも。

子どもは大人になり、大人は子どもになっていくということでしょうか。ある意味正解のような気がします。「じゃあよろしくね」と言う嬉しそうに頷きました。子どもの感性は純粋で力強く、空間も時間も自由で、如來のはたらきに似ていると思う時があります。

私たちは証明できないものを疑い、あるいは盲目的に信じ、目の前の選択を積み重ねる生き物です。それはこのコロナ禍で加速したようにも思います。だから阿弥陀さまの信心をいただくわけです。そのはたらきは途切れることなく私たちを照らす、とても強い光です。絶対の光に照らされているから迷いが見えてくる。だから心構えができるということです。いつも私たちの指標となる大きな力に、今日も手を合わせるばかりです。(坊守)

今後の行事について

報恩講以外は中止。状況が良くなりお勤めする場合は、連絡いたしますので、その際にはお参りください。

編集後記

小鳥たちが椿の花の蜜を吸いながら賑やかです。梅や水仙、福寿草が咲き、いつもの早春の庭の様子は、コロナの憂鬱を忘れさせてくれます。

オリンピックを観ながら色々なことを考えました。もし、母が生きていたら、どうしても考えてしまいます。フィギュアスケートが大好きだったからです。

金メダルを獲得したスノーボードの平野歩夢選手を、長い間世界のトップに君臨していたショーン・ホワイト選手が抱きしめるシーンが、心に残りました。自身の後継者として、思いを託している……その気持ちに胸が熱くなったのです。

お寺も「継承」ということが大切で、古希となり、そんなことを考えることが多くなりました。それぞれの家庭でも、お仏壇やお寺を守り続けることについて皆さんで考えていただきたいと思うことです。合掌

発行・宗願寺門信徒会
編集責任者・井上由真
(由美子)
(印刷所・阿部印刷)

宗願寺ホームページ



宗願寺ウェブサイトURL
<https://souganji.com/>